



熊谷市立大幡小学校

校長 松原由郎

## 一 本校の沿革

明治 6年 代小学校を設置する

明治 22年 原島・代・柿沼・新島が合併し、

大幡村になるに伴い、大幡小学校と改称

明治 35年 現在の場所に校舎を移転

昭和 22年 熊谷市立大幡小学校と改称

昭和 38年 開校90周年に伴い、校歌を制定

昭和 48年 開校100周年記念式

平成 元年 運動場を拡張現在の校地になる

平成 27年 老朽化によりシンボルツリーのケ

ヤキを伐採、新たなケヤキを植樹

令和 4年 開校150周年記念行事

## 二 校章・校歌制定に係るエピソード

### 1 校章

・桜の花の真ん中に「幡」の文字をデザイン。

・花びらは、五つの「大」からデザイン。

・「大」と「幡」で大幡を表す。

・昭和三〇年代には、学校にたくさんの方が植  
えられていて、とても見事だった。その桜と

大幡の文字を組み合わせて校章ができたとの  
こと。

### 2 校歌

・昭和三八年の開校九〇周年記念事業におい  
て、制定される。

・作詞者の石坂養平氏は、明治・大正・昭和を

通じ、文芸評論家・政治家・実業家として活

躍し、戦後は社会文化の向上に尽くした。

・校歌制定時、三番のはじめの部分の歌詞「百余  
年」は、「九〇年」であった。

♭ ミミラ

# 大幡小学校 校歌

わねをほりあうー いそらーの もーと われ  
 らはわか し わかき いのち は じゅ  
 う じゅう じゅう をのぞむ

## 校 歌

作詞 石坂 義平  
作曲 荒井 敬正

一、おきて正しく ゆるやかに  
 はげみて学ぶ へやの中  
 元氣いっぱい ほがらかに  
 胸をはりあり 空の下  
 われらは若し 若きいのちは  
 自由 自由 自由をのぞむ

二、農耕なべて 機械化し  
 田畑かわりて 工場へ  
 物なめらかに 流れゆき  
 世はみなあげて あらたなり  
 われらは若し 若き力は  
 世代 世代 世代をになう

三、ひかる伝統 百余年  
 いばらの道を 切りひらき  
 いさおをたてし 先輩と  
 恩師の徳を 仰ぎまよ  
 われらは若し 伝統まもり  
 のりこえ のりこえ  
 のりこえんかな